

審判上の確認事項

1. 本大会は、2018 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則、9 人制競技規則を適用する。
2. ベンチスタッフ及び選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
3. 全種別すべて 3 セットマッチの 1 ボール・システムとする。
4. 公式練習は、3 分ずつとし、合同練習の場合は 6 分間とする。
5. 今大会は、給水のためのタイムアウトは適用しない。
6. ジャージ、パンツ、(6 人制はソックスまで)の色とデザインはチームで統一されなければならない。(リベロ・プレーヤーは除く)
7. ユニフォームを着替えるときには、ゲームキャプテンが主審の許可を得てセット間に行く。(アリーナでの着替えはできない。)
8. 軽度の不法行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームの罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。これは 2 段階で処置される。
 - ステージ 1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
 - ステージ 2：該当する選手にイエローカードを使用して警告する。

※ この警告はそれ自体が制裁ではないが、その試合においてそのチームメンバーが(チームが)次から罰則になることを示している。これは記録用紙に記載されるが、直ちに罰則を受けることにはならない。
9. ライヤー中、監督は記録席に一番近いベンチに着席し、必要があれば許可されたスペース内で立ち上がって指示を与えても良い。
10. 6 人制において、競技者交代時ナンバーパドルは使用しない。
11. ゲーム中のコートワイピングは、コート内の競技者自身で行うこと。
12. リベロ・プレーヤーシステムについて
 - (1) リベロ・プレーヤーはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
 - (2) 監督は、試合開始前、記録用紙に記載されている競技者の中からリベロ・プレーヤーを指名し、記録員に伝え記録員が記入した後に、記録用にサインをする。